

## 西表島森林生態系保護地域の概要

西表島は日本最大規模のマングローブ林や亜熱帯性の広葉樹林などで構成される森林が広がり、イリオモテヤマネコをはじめとする貴重な野生動植物が生育・生息しており、九州森林管理局では、西表島の貴重な森林生態系の保護や保全を行うために、平成3年3月に西表島森林生態系保護地域設定委員会の審議を経て「西表島森林生態系保護地域」を設定しました。その後約20年が経過し、長期にわたり人手が加えられていない天然林が区域外にも広がっていたことなどから平成24年3月には区域を大幅に拡充し、現在の「西表島森林生態系保護地域」となりました。

### 概要

西表島の国有林(24,474ha)の約84%にあたる20,471haの国有林を森林生態系保護地域に設定しています。

内訳 保存地区(コアゾーン)9,999ha  
保全利用地区(バッファゾーン)10,471ha



仲間川周辺のマングローブ林

### 西表島森林生態系保護地域



### ○保存地区(コアゾーン)

- ・原則として人手を加えず、自然の推移に委ねる地区。
- ・既設に歩道等を利用し、必要に応じ利用の制限などを行います。

### ○保全利用地区(バッファゾーン)

- ・保存地区への影響を緩和する地区。
- ・教育的利用、森林レクリエーションとして保存地区に影響が及ばない範囲で利用することができます。